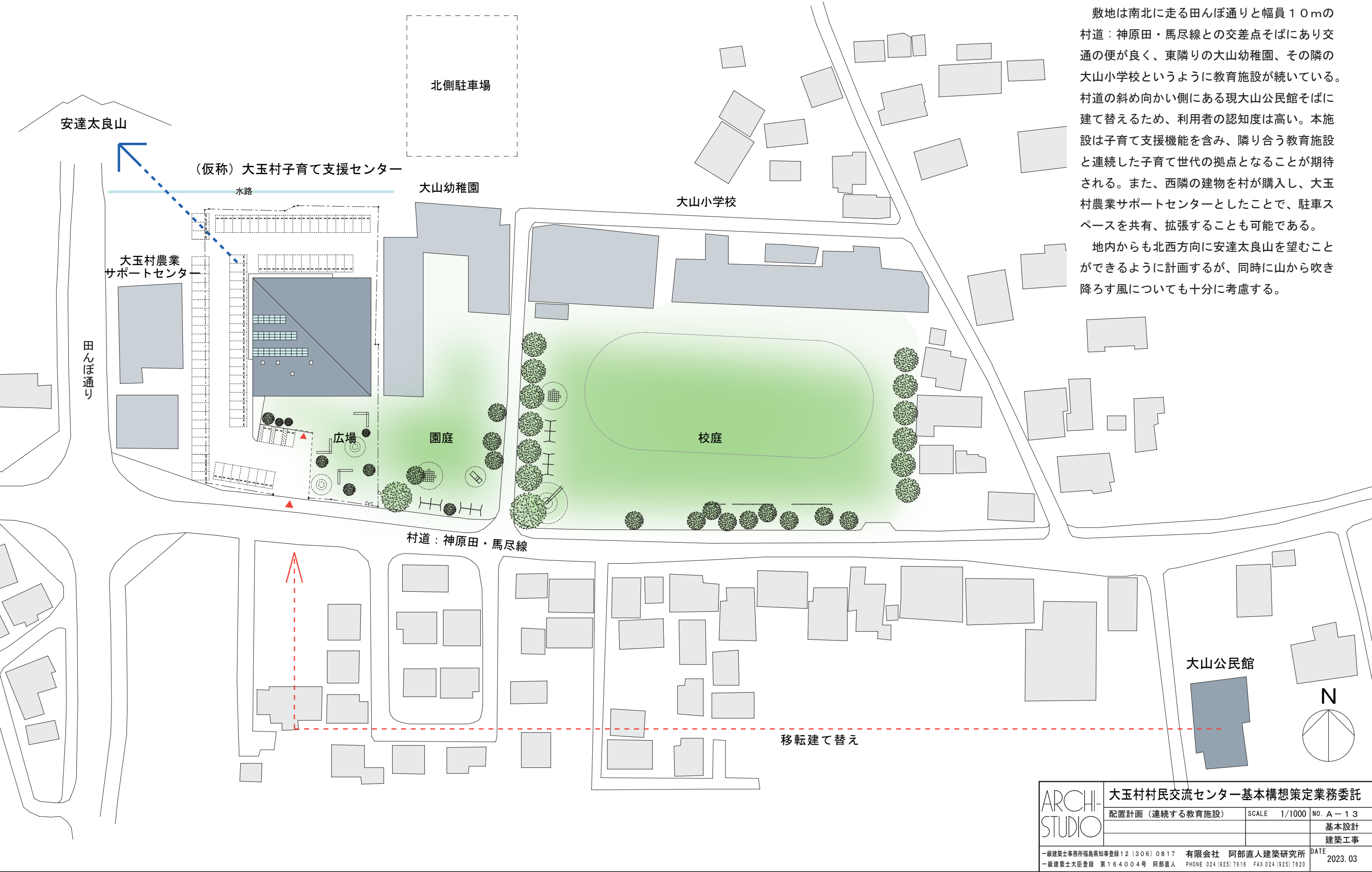


(仮称)大玉村子育て支援センター基本構想

令和5年3月
大 玉 村

■配置計画（連続する教育施設・子どもたちが遊ぶ緑のプロムナード）



敷地は南北に走る田んぼ通りと幅員10mの村道：神原田・馬尽線との交差点そばにあり交通の便が良く、東隣りの大山幼稚園、その隣の大山小学校というように教育施設が続いている。村道の斜め向かい側にある現大山公民館そばに建て替えるため、利用者の認知度は高い。本施設は子育て支援機能を含み、隣り合う教育施設と連続した子育て世代の拠点となることが期待される。また、西隣の建物を村が購入し、大玉村農業サポートセンターとしたことで、駐車スペースを共有、拡張することも可能である。

地内からも北西方向に安達太良山を望むことができるように計画するが、同時に山から吹き降ろす風についても十分に考慮する。

ARCHI-STUDIO	大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託		
	配置計画（連続する教育施設）	SCALE 1/1000	NO. A-13
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所福島県知事登録12(306)0817 有限会社 阿部直人建築研究所		DATE 2023.03	
一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人		PHONE 024(925)7616 FAX 024(925)7620	

■動線・ゾーニング計画

大玉村農業サポートセンター

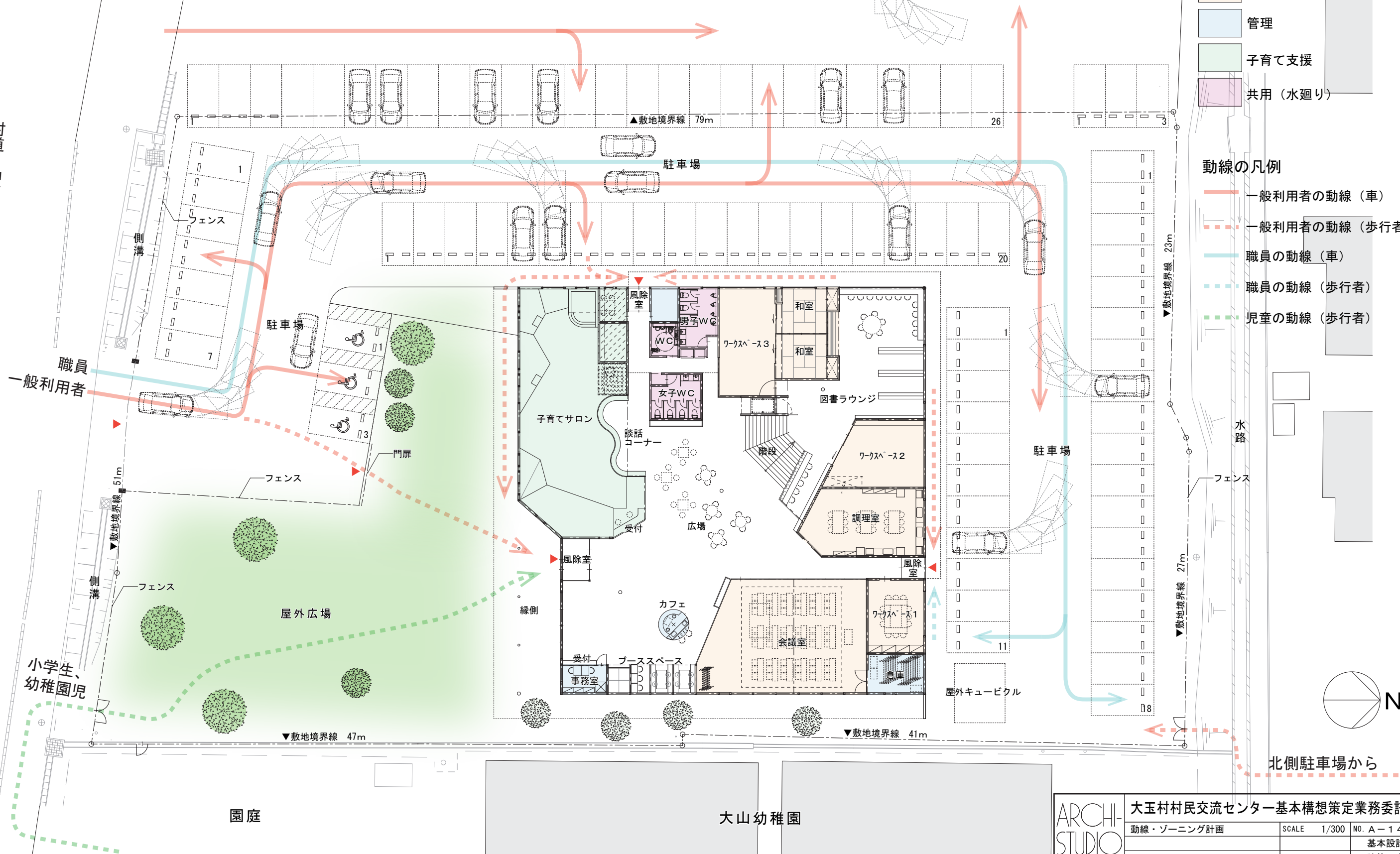
村道・神原田・馬尽線

ゾーニングの凡例

- 一般利用（フリースペース）
- 一般利用（部屋）
- 管理
- 子育て支援
- 共用（水廻り）

動線の凡例

- 一般利用者の動線（車）
- 一般利用者の動線（歩行者）
- 職員の動線（車）
- 職員の動線（歩行者）
- 児童の動線（歩行者）



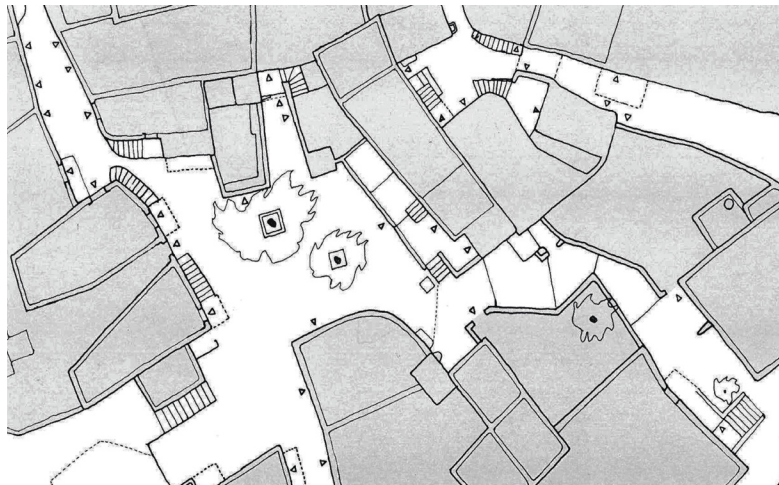
北側駐車場から

大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託			
ARCHI-STUDIO	動線・ゾーニング計画	SCALE 1/300	NO. A-14
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所福島県知事登録12(306)0817 有限会社 阿部直人建築研究所		DATE 2023.03	
一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人		PHONE 024(925)7616 FAX 024(925)7620	

■建築計画（街のような内部空間）

- ・ 部屋と広場

この建築は、いくつかの部屋とそれ以外の広場や路地から構成されている。ちょうど街の広場とガラス越しに中の様子が見える店のような関係である。使い方が想定された部屋に対し、広場は多様で自由な使われ方ができるオープンスペースである。各部屋との間仕切り建具を大きく開け放すことで部屋と広場が連続し、出入りしやすくなり、イベントを拡張させて展開することも可能である。広場では誰もが自分の気に入った居場所を見つけ出し時間を過ごすことができるように、可変的な家具や移動可能なしつらえを準備する。



ギリシャ ミコノス島の路地と広場

ギリシャのミコノス島に見られるように
密になった集落の中に路地が入り込み
それが広がって広場が形成されている。
そこは人々が各住戸から出てきて自由な
時間を過ごすことができる巨大なリビング
のようなオープンスペースである。

- ・ スキップフロアーと階段

この建物は建築基準法では平屋扱いとなるが、広場のあるフロアは1.8mの段差によって中2階の図書ラウンジへとつながっている。半階くらいの段差で上の階につながるスキップフロアと呼ばれるこの形式は、上下階の見通しが良く一体感があり、行き来がしやすいメリットがある。基本的に1階部分を活動的な使い方、中2階部分を比較的落ち着いた使い方を想定し、各室を配置している。1階広場から中2階の図書ラウンジ、そして視線は安達太良山へと抜けていく。扇型に広がるゆったりした階段は幅が3m～7mと広く、ローマのスペイン階段のようにここに腰掛け、両脇の本棚から自由に本を取り出して読んだり、1階の広場で行われる様々なイベント時には観覧席（階段だけで約30席分）になる。この階段は大玉村と世界初の友好都市となったペルーの山岳都市マチュピチュをイメージさせる。また、高齢者や車椅子使用者のために昇降機（段差解消機）を階段脇に設ける。



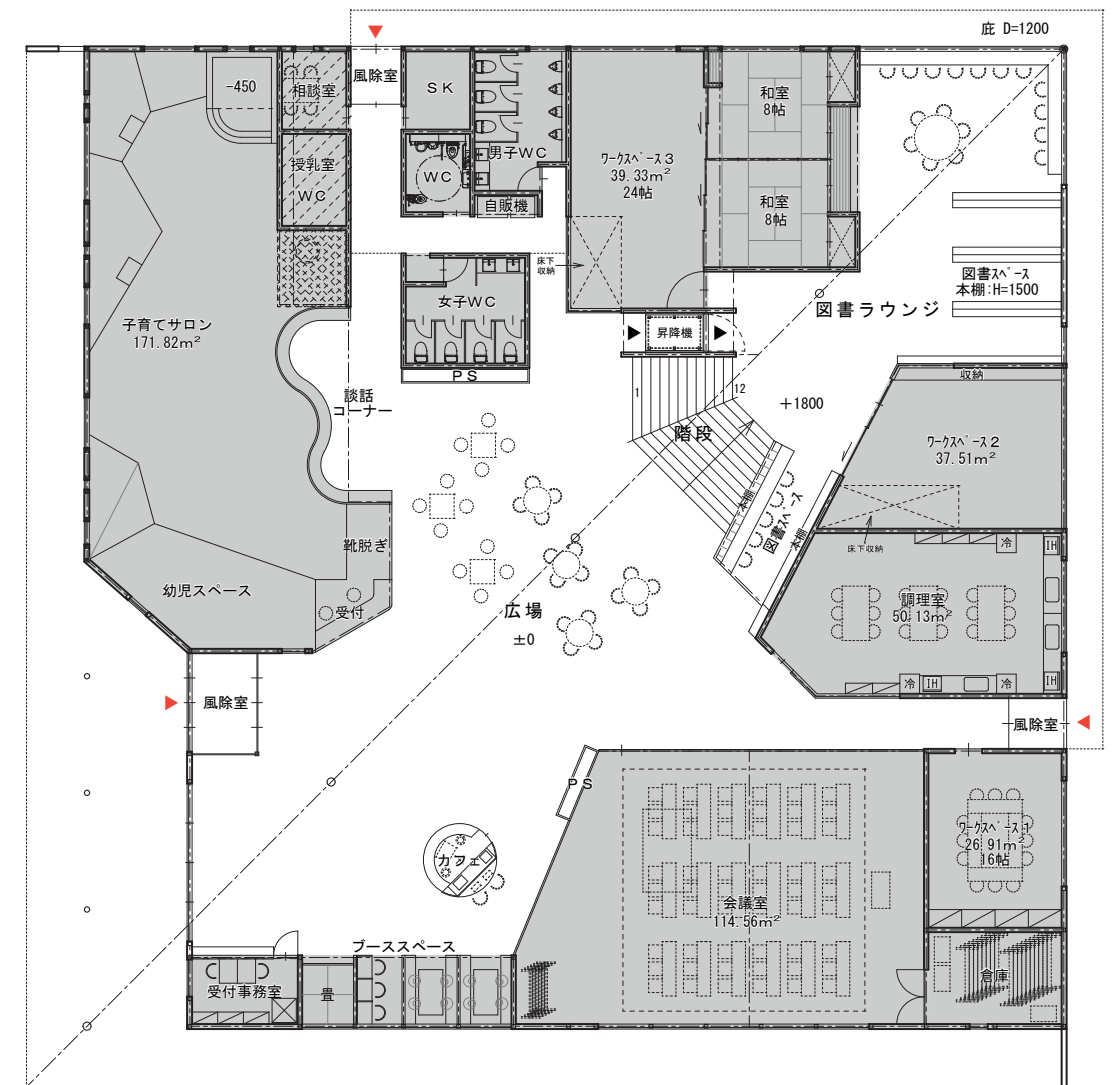
イタリア ローマのスペイン階段

イタリアのローマにあるスペイン広場に大きく開いた階段上の広場がある。多くの人がここに座り、下の通りを歩く人をながめ、コーヒーを飲んだり軽食を楽しんでいる。下の通りを歩く人たちからは、階段に座り思い思いの時間を過ごす人たちの様子が見える。ここにはお互いに見る見られるの関係が生まれている。



ペルー マチュピチュ遺跡

ペルーのウルバンバ谷に沿った山の尾根に位置する15世紀のインカ帝国の遺跡。1911年、偶然に発見されるまで、深い密林で覆われていた。国際関係としては、日本の福島県大玉村がマチュピチュ村にとって初の友好都市協定を締結。マチュピチュの発展に尽力した野内与吉が大玉村出身であることによる。



	大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託		
	建築計画（街のような内部空間）	SCALE	NO. A-15
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所福島県知事登録12(306)0817 一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人		有限会社 阿部直人建築研究所 PHONE 024(925)7616 FAX 024(925)7620	
			DATE 2023.03

■ 建築計画（広場を囲む部屋）

・子育てサロン

広場と子育てサロンは相互に目が届くように、高さの低い家具などによって子どもの行動制限をしながらオープンにつくる。広場に面したカウンターで受付を済ませ、靴脱ぎ場で靴を脱いでからサロン内に入る。

子どもと保護者をサポートする機能として、専用の相談室、授乳室、幼児用トイレを設ける。

・談話コーナー

保護者の方々の談話コーナーは子どもが遊ぶ傍らで、おしゃべりをしながら見守ることができるように造り付けのソファと低い家具で仕切り、プレイエリアに隣接して設ける。このコーナーは広場の一部であり、だれでも自由に利用できる。

・カフェ

メインエントランスより入るとすぐ右手にカフェがある。広場や子育てサロン、中2階の図書ラウンジや屋外からも良く見え利用しやすい位置にある。円形カウンターが来客者にサービスしやすく、来客どうしのコミュニティの場になる。

背面のパソコンコーナーは自由に利用できる。

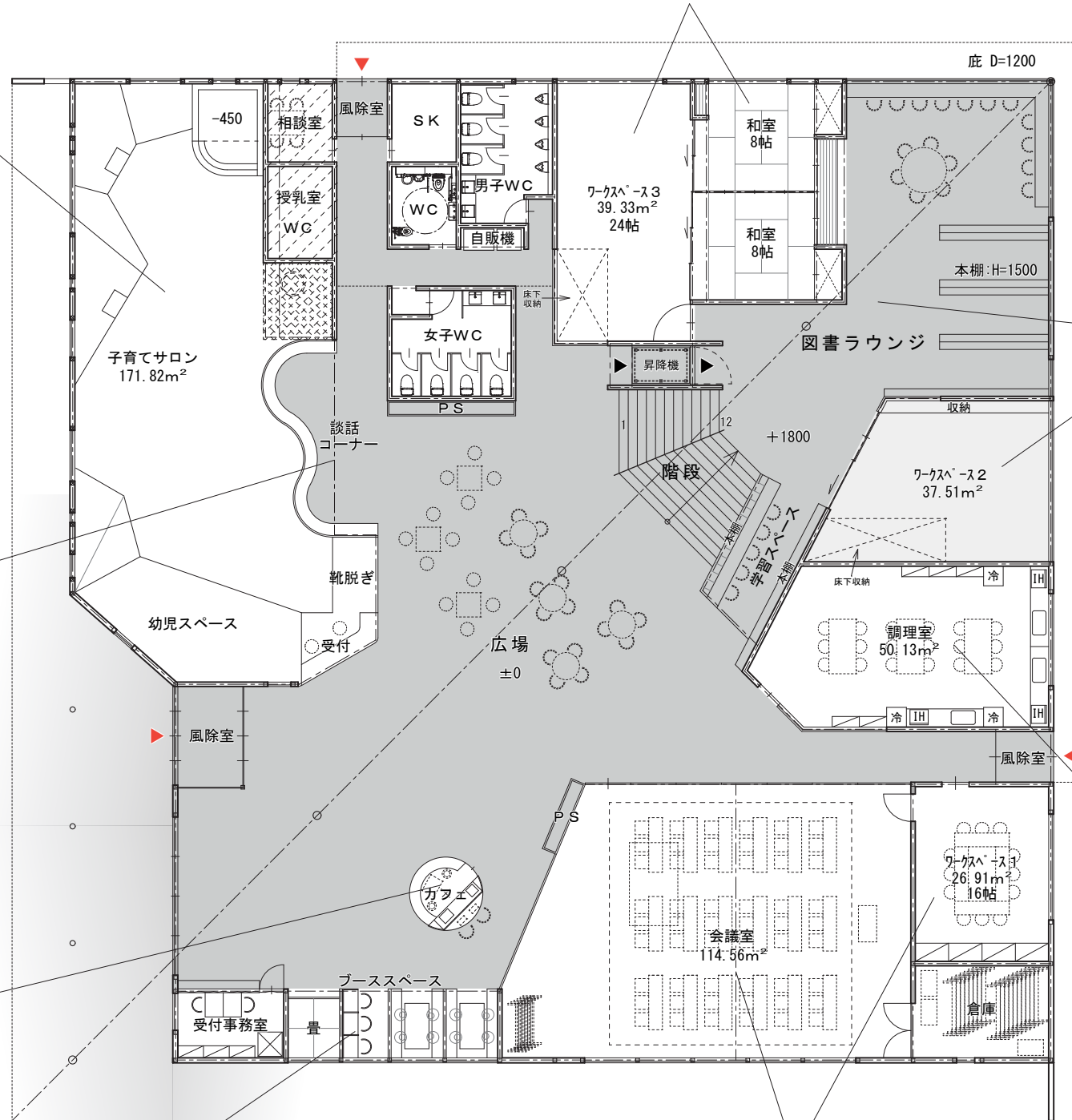
・ワークブース

畳の小上りブース、談話・学習ブース×2、テレワークブース（3席）で構成する。広場にオープンなので、空いていれば誰もが自由に利用できるため、子どもたちの放課後の居場所にもなりやすい。

事務室に近く、管理の目も届く。

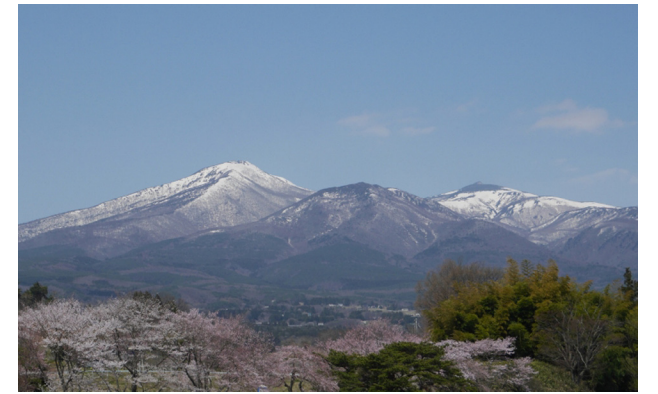
・和室 + ワークスペース 3

小上がりのついた2つの和室は使用目的に合わせて襖を開放し、部屋を伸縮できる。習い事としての利用だけでなく、親の帰りを待つ子供たちの放課後の居場所として住宅に近い使い方を想定している。また、ワークスペース3との仕切りを開放すると大きな空間となり、健康体操や放課後児童クラブのような使い方にも対応できる。



・会議室 + ワークスペース 1

部屋の中で最も大きな会議室は50席を超える規模での集会やセミナーの開催が可能である。その他にも展示会のような様々なイベント、卓球等の軽運動に対応できるように整備する。また、建具を開放し広場と連続させ一体的かつフレキシブルな使い方ができる。机や椅子はすべて付属する倉庫に収納する。ワークスペース1は会議室に隣接し、小会議やミーティングに適した個室であり、様々なイベント時の楽屋や控室として重要な役割を果たす。



・図書ラウンジ + ワークスペース 2

1階の広場から半階上ると、L型に開いた大きな窓から真正面に安達太良山が見えてくる。展望テラスとしても利用されるが、窓の前の机に向かい本を読んだり、勉強に集中したり、お気に入りの場所を見つけることができる。図書ラウンジとして約5000冊を収蔵できる書架と共に整備する。

また、隣接するワークスペース2では静かに集中できる場所として閉じたり、図書ラウンジの拡張スペースとして開放することもできる。ギャラリーとして作品発表の場としても活用しやすい。

・調理室

イベント時やサークル活動、料理教室等に利用する。住宅用で一般的な厨房機器を3セット設けることで使いやすく、キャスター付センターテーブルを前処理や盛り付け台、試食テーブルとして多目的に利用する。テーブルや椅子は付属する床下倉庫に収納することもできる。高低差のあるワークスペース2や学習スペースからは調理室の様子をうかがうことができ、互いに間接的に空間がつながる。



ARCHI-STUDIO	大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託		
	建築計画（広場を囲む部屋）	SCALE 1/200	NO. A-16
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所 福島県知事登録 12 (306) 0817 有限会社 阿部直人建築研究所			DATE 2023.03
一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人			PHONE 024 (925) 7616 FAX 024 (925) 7620

■ 建築計画（子どもたちのための空間）

・子どもの行動・本能に関する2つの理論

子どもたちのための空間として2つの理論が重要と言われている。1つは精神医学者
ジョン・ボウルビィが提唱したアタッチメント理論（アタッチメント＝発達心理学に
おける愛着を意味する）である。小さな子どもや赤ちゃんが健全に育つために、子ど
もたちの行動を見守る母親などの視点から安全・安心基地が必要という理論である。
もう1つは景観地理学者のジェイ・アップルトンが提唱した隠れ場理論である。人は
本能的に眺望と安全のために身を隠す環境に居たいという隠れ場の理論である。

・子育てサロンの計画について

広場と子育てサロンは相互に目が届くように、高さの低い家具などによって子どもの
行動制限をしながらオープンにつくる。広場に面したカウンターで受付を済ませ、靴
を脱いでからサロン内に入る。
子どもと保護者をサポートする機能として、プライバシーが守られた個室の相談室、
授乳室、幼児用トイレを設ける。

・遊び場のイメージ（3つの事例）



会津坂下町立坂下東幼稚園

大きな空間の一部に子どもしか入れないような小さな家を何軒か並べて、
その中を横断できるトンネルをつくり隠れ家のような遊び場をつくる。



福島県須賀川市民交流センター tette

床の起伏や天井に張ったロープ遊具、そこから降ろしたロープ梯子を使い
思い思いに遊ぶことができる。



山形市南部児童遊戯施設 コパル

床の起伏を利用した遊具で立体的な遊びができる場所と、穏やかに遊ぶ場所
が共存している。

○ 談話コーナー

保護者の方々の談話コーナーは子どもが遊ぶプレイエリアに隣接して設け、おしゃべりをしながら見守
ることができるように造り付けのソファと低い家具で仕切る。この談話コーナーは広場の一部であり、
だれでも自由に利用できる。

○ 子どもの遊び場

子どもたちが安全に遊べるように、遊びの種類に応じてエリアを緩やかに分け、活発に遊ぶ子と穏やか
に遊ぶ子の衝突などを防ぐ。

A. アスレチックエリア

多面形な床が起伏をつくり、すべり台や床下に潜り込めるトンネルをつくる。中2階となる
ロフトにはロープネットを設け、ロープ梯子によって下に降り、子どもたちが立体的に回遊
できるようにする。

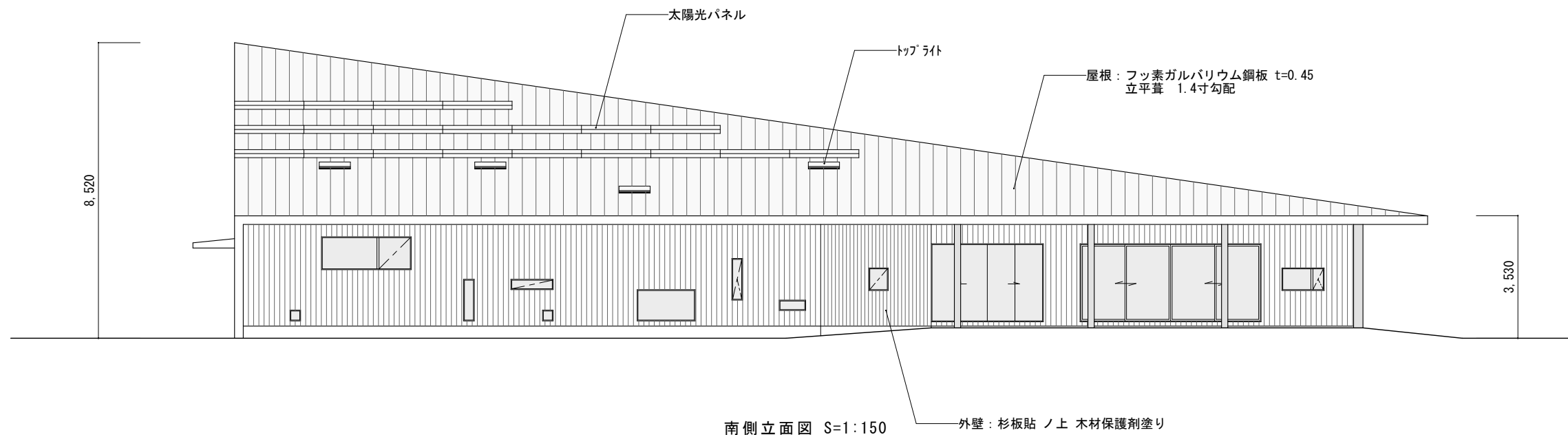
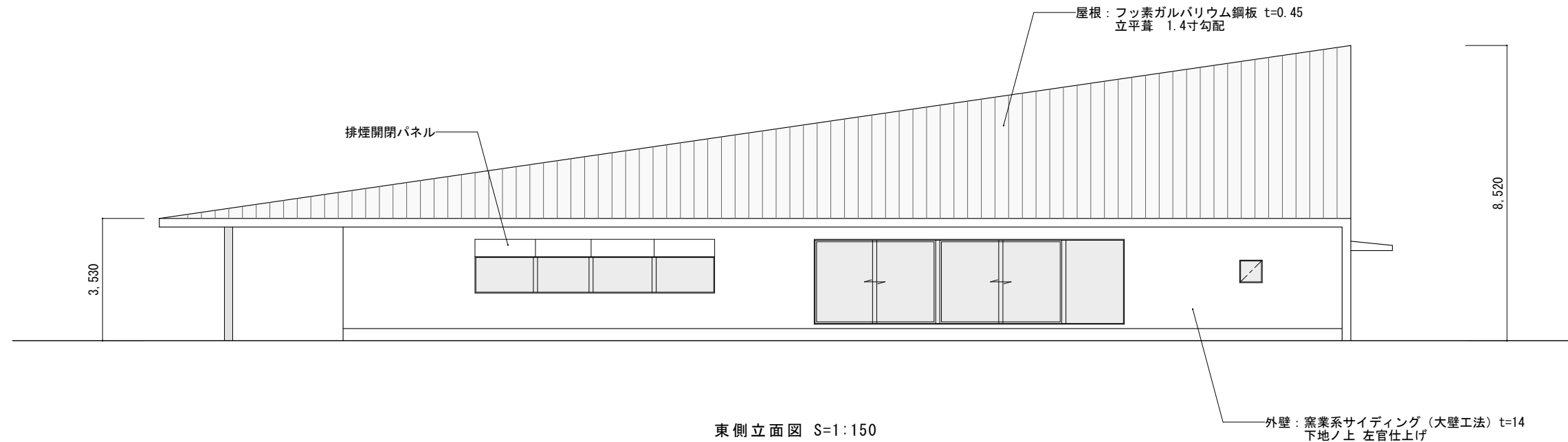
B. 畳エリア

受付の近くで、職員の目が行き届きやすいところに幼児の専用スペースをつくる。
絵本の本棚、木製玩具、ローテーブル等を設け、低い柵で囲まれた安全な場所とする。

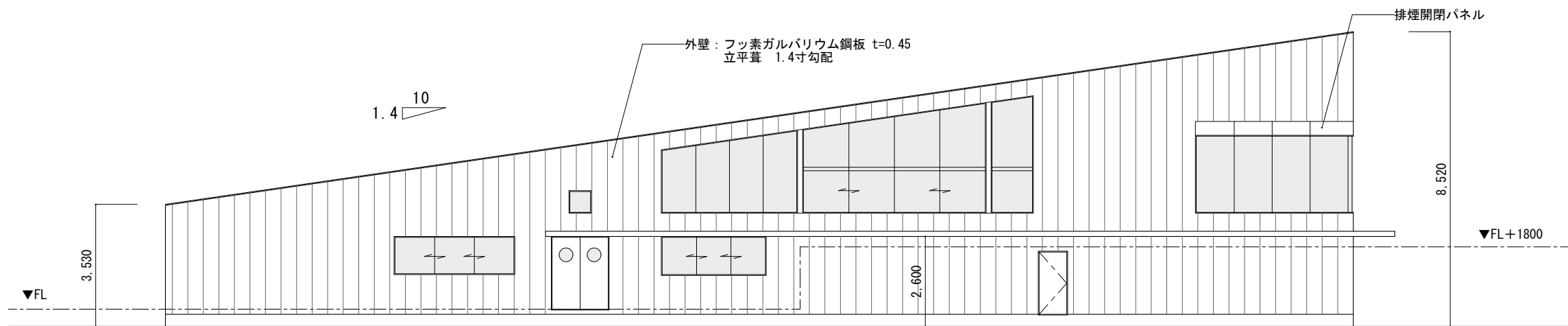
C. 読み聞かせコーナー

ロフトに上がるボルダリングの下には低い天井の絵本の読み聞かせコーナーをつくる。

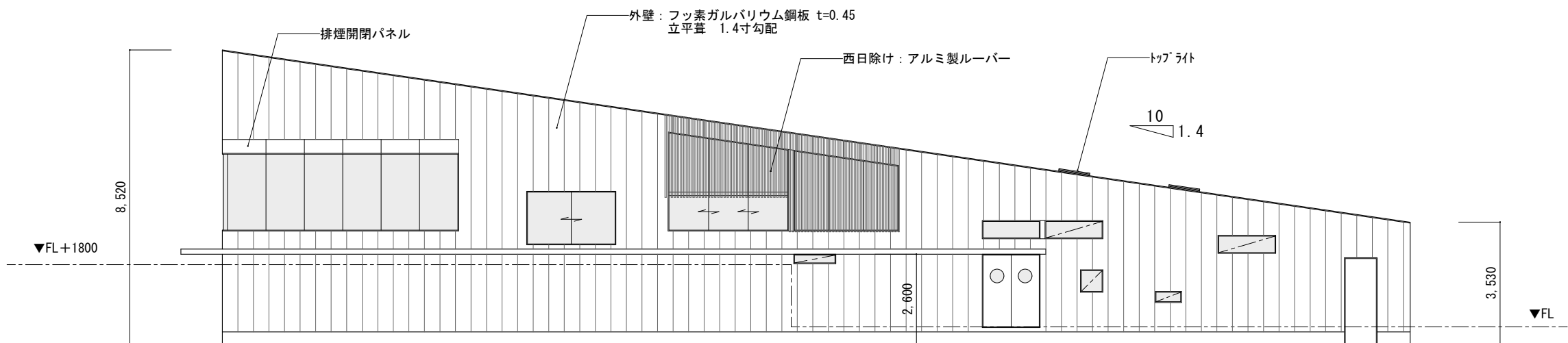
ARCHI- STUDIO	大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託		
	建築計画（子どもたちのための空間）	SCALE	NO. A-17
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所福島県知事登録12(306)0817 有限会社 阿部直人建築研究所 一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人 PHONE 024(925)7616 FAX 024(925)7620			DATE 2023.03



ARCHI- STUDIO	大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託		
	立面図（1）	SCALE 1/150	NO. A-25
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所福島県知事登録12（306）0817 有限会社 阿部直人建築研究所			DATE 2023. 03
一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人 PHONE 024（925）7616 FAX 024（925）7620			



北側立面図 S=1:150



西側立面図 S=1:150

ARCHI-STUDIO	大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託		
	立面図 (2)	SCALE 1/150	NO. A-26
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所福島県知事登録12(306)0817 有限会社 阿部直人建築研究所			DATE 2023.03
一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人 PHONE 024(925)7616 FAX 024(925)7620			

■内観パース（１）

キールトラス：
メインエントランスから安達太良山へ向かう方向性をもつ。
寄棟屋根の棟を支える木とスチールのハイブリットトラス構造体。



広場から図書ラウンジを見る

ARCHI-STUDIO	大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託		
	内観パース（１）	SCALE	NO. A-3 1
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所福島県知事登録12(306)0817 有限会社 阿部直人建築研究所			DATE
一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人 PHONE 024(925)7616 FAX 024(925)7620			2023.03

■内観パース（2）

キールトラス：
メインエントランスから安達太良山へ向かう方向性をもつ。
寄棟屋根の棟を支える木とスチールのハイブリットトラス構造体。



図書ラウンジから広場を見る

ARCHI-STUDIO	大玉村村民交流センター基本構想策定業務委託		
	内観パース（2）	SCALE	NO. A-32
			基本設計
			建築工事
一級建築士事務所福島県知事登録12(306)0817 有限会社 阿部直人建築研究所		DATE 2023.03	
一級建築士大臣登録 第164004号 阿部直人		PHONE 024(925)7616 FAX 024(925)7620	